

# 「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」 会津地方かわら版

会津地方推進本部(福島県会津農林事務所)

令和3年3月19日(金)発行

## 目次

### ○ 会津農林事務所の取組紹介

- ・会津里山森林資源育成研究会が設立されました！
- ・田んぼの学校「令和2年度かべ新聞コンクール」が開催されました！
- ・生物多様性に配慮した森林土木事業に関する発表が優秀賞を受賞しました！
- ・「6次化商品魅力発見フェア」抽選を実施しました！
- ・令和2年度会津地方人工授精技術向上研修会を開催しました！
- ・「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業のご紹介

### ○ 会津農林事務所からのお知らせ

- ・奥会津から生まれた新商品をご紹介します！
- ・会津の農林産物紹介パンフレットを作成しました！
- ・山火事の防止について
- ・山菜の出荷に御注意ください！！



収穫真っ只中！宮袋いちご  
(会津若松市)

## 会津農林事務所の取組紹介

### 会津里山森林資源育成研究会が設立されました！

令和3年1月30日付けで、会津管内に新たな林業研究グループ「会津里山森林資源育成研究会」が設立されました。

この研究会は、当所が令和元年度に会津桐の資源確保を目的としたプロジェクトチームを結成して以降、苗木生産の取組に御協力をいただいている方々5名が新たに立ち上げたものです。

メンバーは、苗木生産者、桐材等の生産・加工業者、桐苗の植栽等も手がける建設業者、農林高校の教員と、桐苗の生産から植栽・保育、伐採加工、普及までをカバーできる幅広い人材を擁しており、会津桐の資源確保に向け、力強い牽引役として大いに期待されます。

また、同研究会は、会津桐のみならず、他の苗木も活用して、会津地域の里山における森林資源の造成を行うほか、景観づくりも含めた森林整備に関する活動を行うこととしています。

近年、農地の獣害が大きな問題となっていますが、里山の森林整備を着実に進め、野生鳥獣の生息地との緩衝帯として機能させる等、同研究会の取組は獣害の軽減にも繋がるものであり、今後、連携した取組を行っていきたいと考えています。



プロジェクトチームによる桐苗植栽検討会の際の集合写真  
(この内の5名の方が「会津里山森林資源育成研究会」を設立)



## 田んぼの学校「令和2年度かべ新聞コンクール」が開催されました！

県では、農育の推進を図るため、「田んぼの学校」を実施しており、会津管内においては、喜多方市立関柴小学校の3～6年生の児童76名が農作業体験学習に取り組んでいます。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、収穫祭の規模縮小や、1年間の活動を振り返る農林水産部主催の合同成果発表会も見送られましたが、替わりとして「かべ新聞コンクール」が開催されました。かべ新聞には、それぞれの体験内容に対する感想やみんなで協力する楽しさ、活動を支えてくれた方々への感謝が綴られていました。

農林水産部や教育庁職員、また新聞各社による審査の結果、関柴小学校のかべ新聞は努力賞に選ばれ、小学校へ賞状や記念品が贈られるとともに、令和3年2月19日～3月5日に福島県庁等で展示されました。

児童の皆さんは、これまでの活動を通して「農業と農村地域の大切さ」「環境の大切さ」「食と命の大切さ」について理解を深め、また、近隣農家の方や地元土地改良区職員の協力を得ながら活動することで、社会性や協調性、地域とのつながりも学ぶことが出来たようです。

関柴小学校では、引き続き令和3年度も田んぼの学校が実施されることとなりました。また新たな発見があることを期待します。



関柴小学校が作成した かべ新聞



入賞作品の展示

【農村整備部】

## 祝 生物多様性に配慮した森林土木事業に関する発表が優秀賞を受賞しました！

令和3年2月16日（火）から同17日（水）にオンラインで開催された『令和2年度関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会』（関東森林管理局主催）において、生物多様性に配慮して実施した森林土木事業をまとめた当部職員の発表が、優秀賞を受賞しました。

発表題目は『福島県会津地域における生物多様性に配慮した工法の検証』です。15年を経て経過観察を行い、治山施設2箇所（喜多方市山都町、北塩原村）において、本来求められる土砂災害防止機能を維持しながら、生物多様性の保全とも両立している現況を報告しました。

治山施設は土砂災害から人々を守る役割を持つ一方で、生物多様性の保全が併せて望まれます。効果的な治山林道施設の設置・維持管理と併せて、生物多様性に配慮した工法の導入を進めながら、森林が持つ多様な機能を活かす森林土木事業を今後も展開します。



関東森林管理局からの表彰状

【森林林業部】



## 「6次化商品魅力発見フェア」抽選を実施しました！

令和3年1月18日（月）に道の駅あいづ 湯川・会津坂下において「あいづ『道の駅』交流会 6次化商品魅力発見フェア」の抽選を行いました。

このフェアは会津全体の6次化商品の魅力を広くPRするため、令和2年8月から12月末まで会津・南会津地方の道の駅15駅で開催したものです。

応募総数1,777件から当選者60名を決定し、プレゼントとして6次化商品詰合せ（3,000円相当）をお送りしました。当選された皆さま、おめでとうございます！ご応募いただいた皆様、ありがとうございました！



右から 道の駅ばんだい斎藤駅長、道の駅にしあいづ鎌倉駅長（交流会会長）、道の駅あいづ池添チーフ



プレゼント商品一例

【企画部】



## 令和2年度会津地方人工授精技術向上研修会を開催しました！

令和3年2月22日に会津家畜保健衛生所にて、会津地方の畜産農家を対象とした人工授精技術向上研修会を開催しました。この研修会は、人工授精の基礎技術を再確認するとともに、牛の生殖器を用いて構造を「見える化」することにより、人工授精時の注意点を明確にし、さらなる人工授精技術向上を目的に開催し、15名が参加しました。

講師に、畜産研究所の石田研究員と花積家畜医院の花積医院長をお招きし、石田研究員からは凍結精液やキャニスターの取り扱い方についての講演、花積医院長からは実物を用いた家畜人工授精についての実演をいただき、農業者自身も自ら実践することにより、さらなる知識と技術の定着が図られました。

参加した農業者からは、家畜人工授精技術の基礎の確認ができ、来年度以降も同様の研修会を開催して欲しいとの声が寄せられました。



基礎的な人工授精方法の説明



生殖器を用いた人工授精の実演

【農業振興普及部】



## 「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業のご紹介

「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売力強化支援事業は、県内の市町村や民間団体等が、県産農林水産物等の価値を伝え、販売・消費の拡大を図るための販売促進活動やパッケージデザインの向上など、産地や生産物の魅力が消費者に伝わる商品づくりに対して支援する事業です。

今年度、新たに取り組んでいる磐梯町の「ばんだいジオファーマーズ」は、GAP認証トマトを栽培する代表の佐藤栄祐さんを含む3名の若手農家で結成されましたが、今では構成員が10名となり、精力的に活動しています。

事業の内容としては、団体のロゴをはじめお揃いの前掛けやそれぞれの個性を生かしたPOPを作成し、会津管内の量販店ででの対面販売に活用されており、福島県の魅力的な農産物のPRに役立てています。



【企画部】

## 会津農林事務所からのお知らせ

### 奥会津で生まれた新商品をご紹介します！

只見川電源流域振興協議会では、奥会津の食材を活用した2つの新商品を開発し、令和3年3月16日（火）に関係者でのお披露目が行われました。奥会津の生産者の思いが詰まった新商品をぜひご賞味ください！

#### ○ねっかに合う！会津地鶏おつまみ缶3種

（手羽元の塩漬フレック／とりかわ山椒／

鶏もつとキノコのアヒージョ）

米焼耐ねっかに合うおつまみをテーマに開発された会津地鶏の缶詰です。会津地鶏の濃厚な旨みとねっかの相性が最高です。



販売先

- ・セレクトショップ BEAMS JAPAN
- ・ねっか及び会津地鶏みしまやオンラインショップ
- ・奥会津地域の道の駅（柳津、三島、金山、昭和）

#### ○柳津西山 金子さんの手作り「んめえがなピザ」4種

（金山町赤かぼちゃ／昭和村原木しいたけ／

柳津町天然わらびキムチ／西山自然栽培ブルーベリー）

奥会津地域の複数の生産者が協力し生まれた商品です。ハーフサイズ（冷凍）でお手軽に色々な味を楽しめます。

販売先

- ・奥会津地域の道の駅（柳津、三島、金山、昭和）
  - ・ティールーム山ねこ
- （取り寄せ可、お店では焼きたてが味わえます）



【企画部】



## 会津の農林産物紹介パンフレットを作成しました！

会津地方にはおいしい農林産物がたくさんあります。しかし、どんな野菜や果物があって、生産者がどんな工夫やこだわりを持っているのかは、なかなか分かりづらい…。そんな素朴な疑問を解決できる、会津の農林産物をまとめたパンフレット「おいしい会津をご紹介します」を新たに作成しました。当所 HP からぜひご覧下さい。

会津農林事務所 HP

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/aizu-pamphlet.html>



【企画部】



## 山火事の防止について

例年、雪解け後の春先は空気が乾燥し、山火事が最も発生しやすい時季となっています。

そのため、山火事の予防を目的として、令和3年4月1日から令和3年5月30日までの期間を会津地方の山火事防止強調月間と定め、各市町村や消防機関等と連携しながら各種公報活動を行っていきます。

林野火災のほとんどは、人為的な不注意によって発生しています。かけがえのない貴重な森林を守るため、火の取り扱いには十分注意しましょう。

令和3年全国山火事予防運動統一標  
「あなたです 森を火事から 守るのは」



令和3年全国山火事予防運動実施中  
主催：林野庁・消防庁  
令和3年全国山火事予防運動ポスター

【森林林業部】



## 山菜の出荷に御注意ください！！

会津地方においては、山菜には表-1のとおり出荷の制限が出されております。

再度確認のうえ、出荷制限品目を出荷しないようお願いします。

また、出荷制限は市町村毎にかけられているため、制限のない品目を出荷・販売する際は、市町村名による産地の表示をお願いします。

### 出荷制限品目は・・・

- 1 出荷制限等は継続しており、年度が変わっても出荷・販売はできません。
- 2 自主検査等の結果が基準値（100Bq/kg）以下でも出荷・販売はできません。
- 3 乾燥や水煮などの加工品の原料にも使用できません。
- 4 食堂や宿泊施設等で調理してお客さんに提供することもできません。
- 5 インターネット等による通信販売もできません。  
フリマアプリ等を介した個人売買も出荷・販売に該当します。
- 6 他人への譲渡もご遠慮ください。（出荷・販売に含まれます）

表-1 会津管内における山菜類の出荷制限等の状況

品 目	市 町 村
たらのめ (野生のものに限る)	北塩原村、猪苗代町
こしあぶら	会津若松市、喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、 会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町
ねまがりたけ (野生のものに限る)	猪苗代町

※喜多方市の栽培わらびを出荷・販売できるのは、安全性が確認された圃場のものに限りです。  
(福島県林業振興課のホームページで確認できます。)

※最新の出荷制限等の情報は、次のホームページで確認できます。

◇福島県内のは、福島県林業振興課の HP  
(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/>)

◇福島県外のは、厚生労働省の HP  
([https://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](https://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html))

【森林林業部】

### 【ご意見・お問い合わせ】

会津地方推進本部事務局  
(福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課内)  
〒965-8501  
福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)  
TEL (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389  
E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

